

第1回グローバル30産学連携フォーラム

※おかげさまで、本フォーラムには370名の方にご来場いただき、盛況のうちに閉会を迎えることができました。また、終了後行われた懇親会には産業界、大学関係者を合わせ117名の方にご参加いただき、社会のグローバル化と国際人材育成に対する関心の深さがうかがわれました。

1.開催の趣旨

我が国の高等教育機関が教育・研究、科学技術の振興を通して国際社会ならびに日本社会の発展に寄与するために、産学が連携し、留学生受け入れを推進し、国際的人材の育成・活用を図る。

2.開催日時・会場

日時：2010年8月2日（月）午後2時～5時／フォーラム 午後5時半～7時／懇親会（要予約）

会場：経団連会館カンファレンス 2階 國際会議場

住所：東京都千代田区大手町1-3-2

懇親会会場：トラットリア ラ・ベルデ 大手町店

住所：東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアB1

電話：03-3217-1540

懇親会会費：3000円

おかげさまで懇親会は参加者多数となつたため予約を締め切りました。ありがとうございました。

3.フォーラム内容

① 全体テーマ：「社会のグローバル化と国際人材の育成に向けて」

② 式次第：

司会（勝悦子 明治大学副学長）

14:00-14:10 挨拶（阿川尚之 慶應義塾大学国際担当常任理事）

14:10-14:20 挨拶（加藤重治 文部科学省審議官（高等教育局担当））

14:20-14:40 基調講演（下記参照）

14:40-15:00 休憩

15:00-16:20 パネルディスカッション（下記参照）

16:20-16:40 質疑応答

16:40-17:00 閉会挨拶（水田祥代 九州大学理事・副学長）

③ 基調講演：

(ア) テーマ：「高度外国人材活用の課題と展望について

(イ) 趣旨：経済環境のグローバル化が進む中、日本産業界における高度外国人材の必要性を再認識する。その上で、日本経済団体連合会（以下、経団連）からの留学生雇用促進関連の政策提言の効果、それに基づいた課題と今後の展望を経済界や教育界に訴えるとともに、大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業への期待に触れ、具体的行動として産学連携強化の必要性を指摘する。

(ウ) 講演者：石原邦夫、東京海上日動火災保険会長、経団連教育問題委員会共同委員長

④ パネルディスカッション

(ア) 趣旨：本フォーラムのテーマに基づき、具体的事例と戦略的な視点から現状の様々な課題を明らかにしながら、その解決策に向けた産学の連携・協力の方向性を追求し、具体的な行動方針を模索する。

(イ) 登壇者：

ファシリテーター 田中明彦 東京大学 理事・副学長

パネリスト 岸本治 ソニー株式会社人事部門人材開発部統括部長

大西芳明 楽天株式会社取締役執行役員CEO補佐

塩尻和子 筑波大学 理事・副学長

慈道裕治 立命館大学 総長特別補佐

加藤重治 文部科学省 審議官（高等教育局担当）

林 揚哲 経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室 企画官

- ⑤ (ア) 外国人雇用を国際貢献というレベルを越えて、日本の活力、成長エネルギーの大きな力の一因と捉え、本フォーラムを単発で終わらせるのではなく、今後産学が、恒常的に連携・協力関係を継続していくための契機とする。
- (イ) そのため、パネルディスカッションの最後に留学生の雇用促進のため、産学の接点として大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業採択校と経団連の間で協議会や作業グループなどの立ち上げの宣言など、フォローアップを検討する。
- (ウ) また、本フォーラムの結果を文章でまとめ、今後の産学連携の指針とし、実際の行動計画も織り込んでいくことを目指す。
- ⑥ ※日 - 英同時通訳あり。
-

4.共同主催

- 国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）採択校（東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学）
 - 文部科学省
 - 日本経済団体連合会
-

国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）第2回グローバル30产学連携フォーラム

※今回2回目となる産学連携フォーラム（共催：日本経済団体連合会）は、産業界、大学等から412名の方にご来場いただき、おかげさまで盛況のうちに終了いたしました。

特に、事前の勉強会を経て開催した二つの分科会（テーマ：「留学経験のある日本人の雇用について（幹事校：明治大学）」「留学生の雇用について（幹事校：立命館大学）」）においては、昨年以上に活発な意見の交換が参加者とパネリストの間で行われました。

フォーラムの最後に、今後グローバル30採択大学と経団連が国内外の様々な団体と協力して推進していく取組について発表しました。（下記参照）

「産学連携によるグローバル人材育成のための取組について」は

こちらからダウンロードできます。

分科会の報告は以下のリンクからダウンロードできます。

分科会テーマ①「留学経験のある日本人の雇用について」

分科会テーマ②「留学生の雇用について」

また、終了後行われた懇親会には多くの産業界及び大学関係者の方にご参加いただき、本フォーラムのテーマである「社会のグローバル化と国際人材育成」に対する関心の高さがうかがわれました。



鈴木文部科学副大臣によるご挨拶



川村隆（社）日本経済団体連合会副会長
教育問題委員長による基調講演



フォーラム会場の様子



2階席まで満席になりました



分科会①の様子



分科会②の様子



分科会発表の様子



文部科学省、経済産業省からのコメント

» 1. 開催の趣旨

本フォーラム開催をとおして大学と産業界との連携を深め、高度国際人材の育成及び活用のための課題と展望について検討する。具体的には、社会のグローバル化と高度国際人材育成に向けて、大学と産業界が連携すべき課題として、留学生の雇用及び留学経験のある日本人学生の雇用などの諸問題の検討を行う。本フォーラムで得られた成果については、国際化に積極的に取り組んでいる大学等と共有を図ることとする。

» 2. 開催日時・会場

日時： 2011年8月3日（水）
午後2時～5時20分／フォーラム
午後6時～8時／懇親会
(要予約、6. 申込みフォームよりお申込みください)
※懇親会申し込みは締め切りました。
当日申込は受け付けておりませんので予めご了承ください。

フォーラム会場： 経団連会館カンファレンス 2階 国際会議場（大会場）
経団連ホール北・南（分科会会場）

住所： 〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目3-2
<http://www.keidanren-kaikan.jp/map.html>

懇親会会場： 大手町@salon

住所： 東京都千代田区大手町2-3-6 三菱総合研究所ビル2F

懇親会費： 3,000円

» 3. フォーラム内容（案）

- 1：全体テーマ： 「社会のグローバル化と国際人材の育成に向けて」
- 2：分科会テーマ： 「留学経験のある日本人の雇用について」幹事校：明治大学
分科会第一回勉強会（報告）
分科会第二回勉強会（報告）
「留学生の雇用について」幹事校：立命館大学
分科会第一回勉強会（報告）
分科会第二回勉強会（報告）
- 3：式次第： 司会 早稲田大学副総長・常任理事 内田勝一氏（全体司会）
名古屋大学副総長 渡辺芳人氏（分科会の報告 ファシリティイター）
- 一. 14:00-14:10 開会挨拶（同志社大学副学長・国際連携推進機構長 田端信廣氏）
- 二. 14:10-14:20 挨拶（文部科学省）
- 三. 14:20-14:40 基調講演（社団法人日本経済団体連合会副会長・教育問題委員長 日立製作所会長 川村隆氏）
- （休憩10分）
- 四. 14:50-16:00 分科会① パネリスト（上智大学学術交流担当副学長 Yiu Angela氏 他）
分科会② パネリスト（京都大学国際交流推進機構長 森純一氏 他）
- （休憩20分）
- 五. 16:20-16:30 分科会①議論内容発表（明治大学副学長 勝悦子氏）
- 六. 16:30-16:40 分科会②議論内容発表（立命館大学総長特別補佐 慶道裕治氏）
- 七. 16:40-16:50 文部科学省及び経済産業省によるコメント
- 八. 16:50-17:10 質疑応答
- 九. 17:10-17:20 閉会挨拶（東北大学総長補佐 木島明博）

※申込みフォームを記入される際には分科会①または②の参加の意向を伺います。

» 4. 共同主催

主催：国際化拠点整備事業採択校
(東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学)

共催：社団法人日本経済団体連合会

後援：文部科学省、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、社団法人日本貿易会

第3回グローバル30産学連携フォーラム



国際化拠点整備事業（グローバル30）採択校13校（推進事務局・東京大学）が、9月19日に経団連会館において「第3回グローバル30産学連携フォーラム」を開催しました。共催は、一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）、後援には、文部科学省、経済産業省、および日本商工会議所等の経済団体四団体が名を連ねました。

本年度で3回目となる当フォーラムでは、「社会のグローバル化と国際人材の育成に向けて」をテーマに、大学と産業界が連携すべき課題として大学の国際化とグローバル人材育成のための取組について諸課題を検討しました。前2回が、採択13大学が産業界に対して共同声明を発表し、大学から産業界への要望を発信する形式を取ったのに対し、今回は、採択13大学の国際化やグローバル人材育成の取組について丁寧に発信する内容としました。

当日は、大学をはじめ、企業、外国公館・関係機関、マスメディア、省庁関係者など合計325人の参加がありました。フォーラムは、羽田正東京大学副学長の司会のもと、名古屋大学渡辺芳人理事・副総長の開会の挨拶で始まり、続いて山野智寛文部科学省審議官ご挨拶をいただきました。山野智寛審議官のご挨拶では、既にグローバル人材の重要性は産学問において十分に認識されており、現在は具体的な活動を積み重ねて行くべき段階にある。また、このような課題解決のためには大学と産業界それぞれが当事者意識を持って、協働関係を進化させていくことが重要と述べされました。

次に岩波利光経団連教育問題委員会企画部会長・日本電気株式会社特別顧問による基調講演が、「グローバル人材の育成に向けて～産業界の取り組み～」をテーマに行われました。岩波企画部会長は、その中で、産業界でグローバル人材育成への期待が高まっている現状について述べました。その上で、次世代を担う国際的リーダーとしての活躍を期待されるグローバル人材を育成するため、大学に期待するグローバル人材育成の取組を提案しました。さらに、これらの具体例として「経団連グローバル人材育成スカラーシップ」や今年度8月4日に初めて開催された「経団連グローバルキャリア・ミーティング」、「経団連グローバル人材育成モデル・カリキュラム」等、米倉弘昌経団連会長による「サンライズ・レポート」に、今後グローバル30採択13大学と取り組んでいくと明記された内容が、次々と推進されていることが発表されました。

それに引き続き、来場者との意見交換を活発に行うために二つの分科会を設け、幹事大学の早稲田大学と京都大学のもとでそれぞれパネルディスカッションを行いました。「大学の国際化とグローバル人材育成のための取組」という共通テーマのもと、各大学における国際化の取組の紹介と、その現状についての議論を行いました。昨年度に引き続き、グローバル30採択大学以外の大学関係者からも参加を求め、森本あんり国際基督教大学学務副学長、神余隆博関西学院大学副学長にパネリストとしてご登壇いただきました。分科会終了後、辻中豊筑波大学副学長の進行のもとで、それぞれの分科会で発表された意見や議論について報告が行われ、浅田和伸文部科学省高等教育局高等教育企画課長、水野正人経済産業省経済産業政策局産業人材政策室長からコメントをいただきました。

最後に、高橋明大阪大学理事・副学長が閉会の挨拶を述べ、当フォーラムにおいて、大学と企業が、グローバル人材育成や国際化などの大学における取組を共有することにより、課題を再認識できたという成果に触れました。今後も産業界と教育界が当フォーラムを共同開催して、グローバル人材育成の環境整備をはかること、グローバル人材育成の優れた取組についてウェブサイト等を通じて発信し、広く産業界と教育界で共有していくことを発表しました。また、グローバル30採択大学は国際化の拠点として、今後もこのような成果を波及させていく旨の宣言がありました。

産学連携フォーラム配布資料

基調講演：経団連教育問題委員会企画部会長・日本電気株式会社特別顧問 岩波利光氏

分科会①幹事大学：早稲田大学

東北大学

国際基督教大学

新日本製鐵株式会社

分科会②幹事大学：京都大学

九州大学

関西学院大学

日東电工株式会社

コニカミノルタホールディングス株式会社

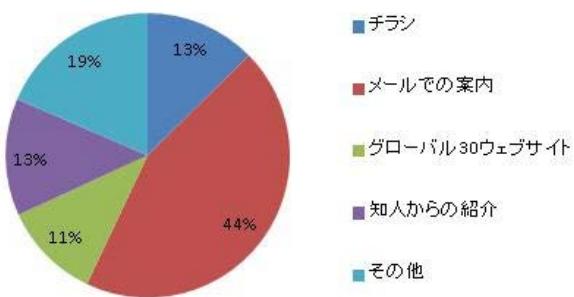
分科会①報告幹事大学：早稲田大学

分科会②報告幹事大学：京都大学

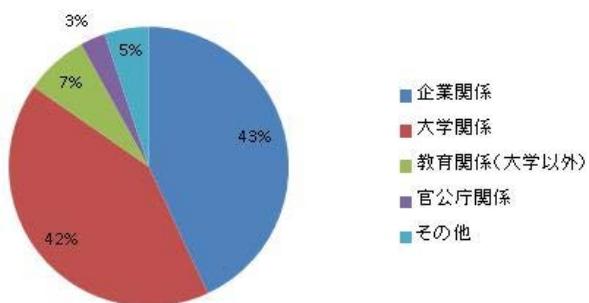
第3回グローバル30産学連携フォーラムチラシはこちら

» 産学連携フォーラムアンケート結果

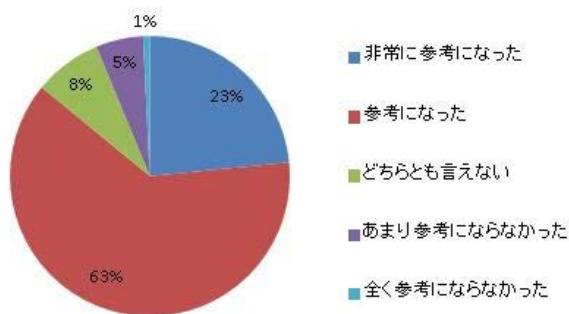
1. 本フォーラムの開催をどこで知りましたか



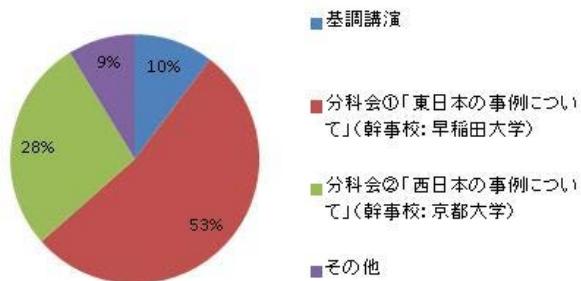
2. 所属先についてお教えください



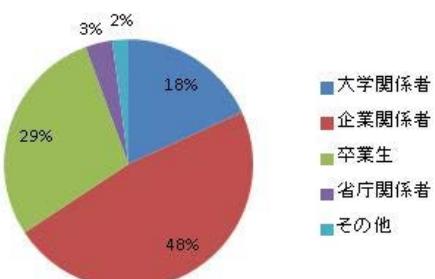
3. 本日のフォーラムは参考になりましたか



4. 本日のフォーラムのどの内容が一番印象に残りましたか



5. 本日のフォーラムのどの発言内容が一番印象に残りましたか



» 1. 開催の趣旨

本フォーラムは、大学と産業界との連携を深め、高度国際人材の育成及び活用のための課題と展望について検討するものである。今年度は、「社会のグローバル化と国際人材育成」をテーマとして、大学の国際化とグローバル人材育成のための取組についての検討を行う。本フォーラムの成果については、国際化に積極的に取り組んでいる大学等と共有を図ることとする。

平成22度のグローバル30産学連携フォーラムの概要はこちら

平成22度のグローバル30産学連携フォーラムの様子はこちら

平成23度のグローバル30産学連携フォーラムの概要はこちら

平成23度のグローバル30産学連携フォーラムの様子はこちら

» 2. 開催日時・会場

日時：2012年9月19日（水）午後2時～5時50分

（要予約、6. 申込みフォームよりお申込みください）

フォーラム会場：経団連会館カンファレンス 2階 国際会議場（大会場） 経団連ホール北・南（分科会会場）

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目3-2

» 3. フォーラム内容（案）

1：全体テーマ：「社会のグローバル化と国際人材の育成に向けて」

2：分科会テーマ：「大学の国際化とグローバル人材育成のための取組について」

分科会①東日本の事例（幹事校：早稲田大学）

勉強会の報告はこちら

勉強会での配布資料（企業名をクリックすると発表資料がダウンロードできます）

新日本製鐵株式会社

イオン株式会社



分科会②西日本の事例（幹事校：京都大学）

勉強会の報告はこちら

勉強会での配布資料（大学名をクリックすると発表資料がダウンロードできます）

名古屋大学

京都大学

大阪大学

九州大学

同志社大学

立命館大学

関西学院大学

コニカミノルタホールディングス株式会社

日東電工株式会社



3：式次第：司会 東京大学副学長 羽田正氏（全体司会）

一. 14:00-14:10 開会挨拶 名古屋大学理事・副総長 渡辺芳人氏

二. 14:10-14:20 挨拶 文部科学省審議官（高等教育局担当） 山野智寛氏

三. 14:20-14:40 基調講演 経団連教育問題委員会企画部会長・日本電気株式会社特別顧問 岩波利光氏

14:40-14:50 休憩

四. 14:50-16:00 分科会①、② 分科会①パネリスト
東北大学総長特別補佐 山口昌弘氏、
国際基督教大学学務副学長 森本あんり氏、
新日本製鐵株式会社人事・労政部部長 山中一馬氏、
イオン株式会社執行役グループ人事最高責任者 大島学氏
丸紅株式会社穀物部穀物グローバル課 ゴメス フランシスコ氏（上智
大学卒業生）

分科会②パネリスト
九州大学理事・副学長 藤木幸夫氏、
関西学院大学・副学長 神余隆博氏、
コニカミノルタホールディングス株式会社執行役人事部長 若島司氏、
日東電工株式会社経営統括部門人財統括部グローバル人事センター長
秋山 千也氏、
オムロン株式会社検査システム事業部ビジョンシステム販売部西部販売
課
ヤン タンジ氏（同志社大学卒業生）

16:00-16:20

休憩

五. 16:20-16:50

分科会①及び②

議論内容発表

筑波大学副学長 辻中豊氏（分科会の報告ファシリテーター）

16:20-16:35 分科会①議論内容発表（早稲田副総長・常任理事 内田勝一氏）

16:35-16:50 分科会②議論内容発表（京都大学副理事・国際交流推進機構長 森純一氏）

六. 16:50-17:10

文部科学省及び経済産業

省による

コメント

文部科学省高等教育局高等教育企画課長 浅田和伸氏、

経済産業省経済産業政策局産業人材政策室長 水野正人氏

七. 17:10-17:40

質疑応答

八. 17:40-17:50

閉会挨拶

大阪大学理事・副学長 高橋明氏

ご参考：昨年度の分科会の内容

第2回グローバル30産学連携フォーラム分科会第一回勉強会（明治大学）

第2回グローバル30産学連携フォーラム分科会第二回勉強会（明治大学）

第2回グローバル30産学連携フォーラム分科会第一回勉強会（立命館大学）

第2回グローバル30産学連携フォーラム分科会第二回勉強会（立命館大学）

» 4. 共同主催

主催：国際化拠点整備事業採択校

（東北大大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学）

共催：一般社団法人日本経済団体連合会

後援：文部科学省、経済産業省、日本商工会議所、公益社団法人経済同友会、一般社団法人日本貿易会、公益社団法人関西経済連合会

第4回グローバル30産学連携フォーラム[報告]

グローバル30採択13大学は9月26日（木）に経団連会館において「グローバル人材を活かす産学連携」をテーマに「第4回グローバル30産学連携フォーラム」を開催し、産業界、大学関係者等あわせて248名が参加し、盛会のうちに終しました。



基調講演の様子

基調講演では、「グローバル人材の育成に向けた取り組みと産学連携」というテーマで奥 正之株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長・日本経済団体連合会副会長から、グローバル人材に求められる資質・能力や、企業・大学に求められる取り組み、三井住友銀行や経団連の取り組みの紹介などについて講演がありました。また、基調講演後、来場者との活発な意見交換を主眼とした二つの分科会を設け、幹事大学（東日本：上智大学、西日本：名古屋大学）のもとで各々パネルディスカッションを行いました。両分科会では、事前に行つた勉強会での議論を踏まえ、更に内容の濃い議論を行うことができました。<各分科会の内容報告書> 東日本分科会は[こちら](#) / 西日本分科会は[こちら](#)



分科会の様子

分科会の後の文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会からのコメントでは、今後も産業界と教育界が、グローバル人材育成の環境整備のために協力して取り組み、グローバル30の事業終了以降も積極的な産学連携を行うことの必要性が示されました。また、閉会の辞において、グローバル30採択大学を代表して東北大学総長特別補佐山口 昌弘氏から、今後も産学連携の取組みを継続する旨表明されました。



分科会報告、質疑応答の様子

式次第と資料:

- 一. 14:00-14:10 開会挨拶
- 二. 14:10-14:20 挨拶
- 三. 14:20-14:40 基調講演「グローバル人材の育成に向けた取り組みと産学連携」 資料は[こちら](#)
- 四. 14:50-16:00 分科会（東日本、西日本）
 - 東日本分科会の資料（ソニー、日立、千葉大学、卒業生小澤氏）
 - 西日本分科会の資料（トヨタ自動車、SGホールディングス、神戸大学、卒業生ナルギザ氏）
- 五. 16:20-16:50 分科会報告
 - 東日本分科会の資料は[こちら](#)
 - 西日本分科会の資料は[こちら](#)
- 六. 16:50-17:20 文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会によるコメント
- 七. 17:20-17:40 質疑応答
- 八. 17:40-17:50 閉会挨拶

式次第詳細

開催案内